

議案第1号 令和4年度松田町一般会計 歳入歳出決算の認定について【討論】

反対討論

寺嶋 正 議員

令和4年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、反対の立場から討論を行います。歳入決算額は前年度対比19.7%減の57億4458万円、歳出決算額は前年度対比20.4%減の52億7681万円で、歳入歳出差引き4億6777万円の剰余金が生じ、継続費通次繰越の「町道19号線町屋踏切改良事業」、繰越明許費の「戸籍電算システム改修事業」ほか3事業及び事故繰越の「松田中学校施設整備事業（校舎改修設計委託料）」に係る翌年度へ繰り越すべき財源8266万円を除いた実質収支額は3億8510万円となりました。

歳入では、自主財源の主たる町税は15億4347万円となり、依存財源の地方交付税は13億448万円、国庫支出金は8億4452万円、町債3億8040万円となりました。歳出では人件費、扶助費、公債費を含めた義務的経費は21億6189万円となっており、令和4年度末の地方債現在高は55億5858万円となりました。

普通建設事業では、松田小学校整備事業、ジビエ処理加工施設建設事業、消防団第6分団消防車両の購入など実施しています。今後、新松田駅周辺整備事業が予定されており、扶助費や公債費の増加等で厳しい財政運営が予測されます。町民の暮らし、福祉の拡充に向けて財源確保を図り、町有地や空き地の有効活用など検討することです。

決算の評価として、新型コロナウイルス感染症対策事業や小児医療費助成を高校卒業まで拡充されたことは理解できますが、事業の未執行や不用額が多く見受けられるので十分精査して適正な予算措置をすること。町の正規職員は定員119名に対し111名となっており増やすこと。新松田駅南口駅前広場整備事業が滞っており引き続き尽力すること。町消防団員は、129人で前年度から8人減っており、町民の生命と財産を守る立場から消防団員を増やすことなど申し上げて決算の反対討論とします。



新しくなった第6分団消防車両

賛成討論

平野 由里子 議員

令和4年度一般会計歳入歳出決算について、賛成の討論をさせていただきます。

本年度は総額31億円の大型公共事業であった松田小学校整備事業の最終年度として、子どもたちの声がかこだまする木造校舎の南側に水はけの良いグラウンドが整備されました。校舎と体育館の屋根には太陽光発電も設置され、二酸化炭素排出だけでなく高騰する電気料を抑制する効果もあり、また災害時の非常用電源として地域の安心にも役立つことでしょう。

新型コロナウイルス感染症が続く一方で、ウクライナなど国際情勢の不安定化もあり、物価が高騰する中で、国からの臨時交付金を活用し、様々な感染対策と支援策を適切なタイミングで実施してきたことも、今回の審査で改めて確認しました。

チルドレン・ファーストを掲げ、近隣に先駆けて小児医療費助成を高校生まで拡充し、第2子の保育料を無償化しました。また「まつだ子どもカフェ」として対面だけでなくZoom参加も交えて、まちづくりに対する小学生～大学生までの声を聞く取り組みも始まりました。

歳入総額57億4460万円、歳出総額52億7680万円で、翌年に繰り越すべき額を引いた実質収支額は3億8500万円。町の貯金、財政調整基金は約15億円と過去最高レベルとなっています。

投資的な事業も計画的に展開しつつ、福祉・教育など経常的な町民サービスも滞りなく実施されており、令和4年度の一般会計歳入歳出決算を認定すべきものといえます。



まつだ子どもカフェの様子